

トヨタ紡織、ネットゼロ目標のSBT認定を取得

トヨタ紡織株式会社は、パリ協定が求める水準と整合した温室効果ガスの排出削減目標「SBT (Science Based Targets)」を認定する機関であるSBTi^{*1}より、トヨタ紡織グループが設定した温室効果ガス排出削減目標において、今回新たに「ネットゼロ目標」のSBT認定を取得しました。

ネットゼロ目標は SBTi 基準に沿って 90%を直接排出削減し、残存した排出量は炭素除去により中和するものです。2019 年比で、Scope1 と Scope2 排出量を 90%、Scope3 排出量を 90%以上削減した上で、削減が困難な残余排出に対しては、大気中からの除去および恒久的な貯留による「中立化」を通して、実質の排出をゼロとすることを目指すものです。

トヨタ紡織グループは「地球環境保護を重視した企業活動の推進」を基本理念に、持続可能な社会の実現に向け、トヨタ紡織グループ一体となって地球環境保護に貢献していきます。

■ SBT 認定を取得した温室効果ガス排出削減目標

対象	短期目標	ネットゼロ目標
	2030 年度 ^{*2} (2019 年度 ^{*3} 比)	2050 年度 ^{*4} (2019 年度 ^{*3} 比)
Scope1 ^{*5} 、Scope2 ^{*6}	50%	90%
Scope3 ^{*7,8}	30%	90%



*1 Science Based Targets initiative : CDP、UNGC（国連グローバル・コンパクト）、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）による共同イニシアチブ

*2 2030 年度 : 2030 年 4 月～2031 年 3 月

*3 2019 年度 : 2019 年 4 月～2020 年 3 月

*4 2050 年度 : 2050 年 4 月～2051 年 3 月

*5 Scope1 : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)

*6 Scope2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

*7 Scope3 : Scope1、Scope2 以外の間接排出(事業者の活動に関連する他社の排出)

*8 2030 年度目標の Scope3 はカテゴリー1【購入した製品・サービス】のみ対象

【トヨタ紡織 ウェブサイト（環境）】

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/csr/environment/>

【2022年10月21日社外公表（SBT認定に向けたコミットメント）】

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/news/post-145.html>

【2024年10月31日社外公表（SBT認定を取得）】

<https://www.toyota-boshoku.com/jp/news/post-184.php>